

「情報共有・意見交換」配布資料



▼参考（復興庁が公表している避難者数）

茨城県 4,544 (-217)	栃木県 2,999 (-6)	群馬県 1,466 (-45)
埼玉県 2,675 (-79)	千葉県 3,935 (-4)	東京都 7,859 (-98)
神奈川県 2,270 (-70)	山梨県 717 (-5)	

() 内は前回からの変動数。平成 26 年 5 月 23 日公表

1) 茨城県

団体名	ふりがな： 茨城県内への避難者・支援者ネットワークふうあいねっと	設立年：2012 年
発表者氏名	ふりがな：たけだなおき 武田直樹	役職名：副代表
活動地域	(都道府県) 茨城県	(市町村) 全域
組織構成	スタッフ数： 7	会員数：30 団体
該当するものに■ ☒ 避難者と避難先の地域住民 ☐ 避難者のみ ☐ 避難先の地域住民のみ ☐ それ以外		

●活動内容 (例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等)
・ 交流会（避難者グループ、子育て・学習支援、農作業、広域交流会、映画鑑賞など） ・ 賠償説明会・法律相談会 ・ 訪問活動（加盟団体実施、一部社会福祉協議会と民生委員との共同実施） ・ 情報提供（ふうあいおたよりの全戸配布・各種イベント情報など）

●今年度特に力をいれる取組 (予定も含め)
孤立防止のために、「ふうあいおたより」の作成と配布や見守りのための訪問事業を行います。 また、避難生活を送る方と一緒に事務局を運営し、当事者目線を意識した活動を行います。
●参加されている方へのメッセージ
※当日コメントいただきます。

2) 栃木県

団体名	ふりがな： とちぎぐらしおうえんかい とちぎ暮らし応援会	設立年： 2011 年 10 月
発表者氏名	ふりがな： きみじま ふくよし 君嶋 福芳	役職名： 運営委員
活動地域	(都道府県) 栃木県	(市町村) 県内全域
組織構成	スタッフ数： 専従 3 名	会員数： 6 7 団体個人
該当するものに■ ■避難者と避難先の地域住民 □避難者のみ □避難先の地域住民のみ □それ以外		

●活動内容 (例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等)

- ① 訪問支援活動・・・訪問支援員が避難世帯を訪問し、状況を確認するとともに、必要なニーズを探り、具体的な支援に繋げる (H25 年度の訪問実績 5 8 5 件)
- ② 情報提供・・・2 ヶ月に 1 回の頻度で、「とちぎ暮らしの手帳」(ニュースレター) や各地の交流会情報、各種有益情報等を全世帯に送付
- ③ 学習会の開催
ア、放射能学習会・・・県北・県央・県南の 3 地区で、獨協医科大学木村準教授を講師に、放射能や除染に関する学習会を開催、特に母子避難者等の不安に応じて好評だった
イ、支援者学習会・・・神戸から黒田裕子氏をお呼びし、阪神淡路大震災での事例等から、支援のあり方を学んだ
- ④ 県内各地域団体との連携・・・県内各地域で活動している団体に訪問支援等のノウハウを伝授し、地域での支援体制構築を目指している (3 地域で支援体制構築)
- ⑤ 個別相談の受付、⑥ 自助組織の支援、⑦ 交流会の開催支援

●今年度特に力をいれる取組 (予定も含め)

- ① 訪問支援と状況確認・・・前年度までに支援や見守りが必要と判断した世帯への、電話や手紙での定期的な状況確認と訪問活動
- ② 振り返りブックレットの作成・・・これまで栃木県内で取り組んできた「広域避難者支援」の活動を振り返り、「できたこと」「できなかったこと」を整理し、記録として残し、次の災害に備える。
- ③ 情報提供や学習会の継続

●参加されている方へのメッセージ

栃木県では、栃木県庁との緊密な連携のもと、「避難者の個人情報の提供」を受けることで、昨年度までに栃木県内へ避難されている全世帯への訪問を行い、支援や見守りが必要な世帯を抽出し、必要に応じた支援を行い、また関係機関へ繋ぐなどの支援活動を展開してきました。

今後は、県内各地域の支援団体に徐々に支援活動を移行させ、地域での顔の見える関係のなかで、避難者の生活の自立に寄与できるよう、体制も徐々にシフトしていくことを想定しています。

3) 群馬県

団体名	ふりがな：ぐんま暮らしおうえんかい ぐんま暮らし応援会	設立年：2012 年 9 月
発表者氏名	ふりがな：にしかわ ただし 西川 正	役職名：運営委員長
活動地域	(都道府県) 群馬県	(市町村) 高崎市を中心とした県内全域
組織構成	スタッフ数：専従 3 名	会員数：団体会員数 19 団体 個人会員数 2 人、ボランティア数 2 人
該当するものに■ ☒ 避難者と避難先の地域住民 ☐ 避難者のみ ☐ 避難先の地域住民のみ ☐ それ以外		

●活動内容 (例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等)

1. 避難者の集いの会・・・同じ境遇に置かれた避難者同士で語り合い、ストレスを解消する。
2. 訪問支援活動・・・連絡のあった避難者の方々を対象として、訪問支援活動を行う。
3. ニュースレターの発行・・・毎月 1 回発行し、県の協力により避難者の方々へお届けしている。
4. 広域連携・・・出身地域とのつながりを保ちながら、他県との情報の共有、交流を深める。
5. 就労対策・・・就労の専門家により福島の情報などを行い、就労に結びつくようにして行く。

●今年度特に力をいれる取組 (予定も含め)

新潟県、栃木県、茨城県、福島県との情報の共有、交流を深め体制を強化して行く。

●参加されている方へのメッセージ

福島県を含む関東広域の支援ネットワークづくりを積極的に行っていきましょう。

4) 埼玉県

団体名	ふりがな：ふくたまだよりへんしゅういいんかい 『福玉便り』編集委員会	設立年：2012 年
発表者氏名	ふりがな：いとう ちあ 伊藤 千亜	役職名：編集スタッフ
活動地域	(都道府県) 埼玉県	
組織構成	スタッフ数：10 人	会員数：15 人
該当するものに■ ■避難者と避難先の地域住民 □避難者のみ □避難先の地域住民のみ □それ以外		

●活動内容 (例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等)

- 情報誌『福玉便り』の編集・発行（埼玉労福協や埼玉県内の市町村経由で、毎月 4,000 部発送）
- 埼玉県内の避難者グループ・支援団体が集まる「福玉会議」の開催（隔月）
- 交流会の開催、埼玉県内各地の交流会のサポート（埼玉労福協・コープみらいの事業として）
- 浪江町復興支援員と連携した、訪問活動（埼玉労福協の事業として）
- 大熊町、小高区など、同じ避難元同士の避難者のネットワーク作り
- 避難区域外（自主避難地域）からの避難者のネットワーク作り
- その他、法律相談会、進学・教育相談会の実施など

●今年度特に力をいれる取組（予定も含め）

- ・まだ出身者同士の交流がすすんでいない町（大熊町、福島県小高区など）の避難者のネットワーキングをすすめ、出身別の避難者の仲間づくり。
- ・母親をはじめとした自主避難者自身が活動の当事者になり、よびかけることを通じて、あらたな仲間と出会え、あるいは再会し、仲間となって支えあっていける関係をつくるためのサポート。

●参加されている方へのメッセージ

『福玉便り』は、避難されていらっしゃる方への生活情報・イベント情報が主ですが、読者のみなさんからのハガキの一言、福島県内の『仮設便り』など、「読み物」の記事も増えました。今後も、読んでくださる方が必要としている情報を的確にとらえ、お届けしていきたいと思っています。皆様の取り組みをお伺いして、学ばせていただき、今後に活かしたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

5) 千葉県

団体名	ふりがな：ちばしみんかつどう・しみんじぎょうさぽーとくらぶ 特定非営利活動法人 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ	設立年： 2000年10月14日
発表者氏名	ふりがな：なべしま ようこ 鍋嶋 洋子	役職名： 専務理事・事務局長
活動地域	(都道府県) 千葉県	
組織構成	スタッフ数：12名	会員数：141名
該当するものに■ ☒ 避難者と避難先の地域住民 ☐ 避難者のみ ☐ 避難先の地域住民のみ ☐ それ以外		

●活動内容（例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等）

2000年に設立。中間支援組織として「市民主体の地域づくり」をテーマに活動を重ねてきました。

《東日本大震災による広域避難者を対象にした事業》

☐ 浪江町復興支援員活動サポート業務（受託事業）

- ・支援活動実践に向けたコーディネート、サポート、関係機関との連携支援
- ・復興支援員への助言、ケア等

☐ 福島県ふるさと・きずな維持再生支援事業（補助事業）

- ・被災者支援活動を行っている団体間の情報交換、課題共有の場の設定
- ・被災者への支援と一般市民の被災者への理解につながる情報紙の編集、発行
- ・被災者間、支援者間の交流と一般市民の被災者への理解につながるイベントの実施
- ・被災者、支援者からの相談対応

●今年度特に力をいれる取組（予定も含め）

☐ 県内避難者の生活再建につながる活動

一人ひとりの状況に対応する形で、避難先の福祉サービスが活用できるような支援、住居（復興支援住宅を含む）についての案内や就労支援活動。

☐ 当事者の主体的な活動の促進

被災者の生きがいや仕事づくりにつながるようなグループ、団体の立ち上げ支援。

●参加されている方へのメッセージ

誰のための活動か。自己満足になっていないか。

…支援の内容をいつも見直しながら進んできたように思います。被災者一人ひとりの声に耳を傾けることが、ニーズに沿った活動につながると考えます。無力感を持つことも多いですが、被災された皆さんの抱えているものが少しでも軽くできればと願い、活動を重ねています。

6) 東京都

団体名	ふりがな:こういきひなんしゃしえんれんらくかいいんとうきょう 広域避難者支援連絡会 in 東京	設立年: 2013 年 5 月 22 日
窓口氏名	ふりがな:かのうゆういち 加納佑一	役職名:事務局
活動地域	(都道府県) 東京都	(市町村)
組織構成	スタッフ数:	会員数: 12 団体
該当するものに■ ☐ 避難者と避難先の地域住民 ☐ 避難者のみ ☐ 避難先の地域住民のみ ■それ以外		

●活動内容 (例: 交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等)

- 1 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催
平成 25 年度は支援団体が幅広く参加するオープンミーティングを 2 回実施。また、避難当事者団体のみが参加するクローズドミーティングを 1 回実施。平成 26 年度はオープンミーティングを 2 回、クローズドミーティングを 1 回実施予定。
- 2 当事者団体が企画するプログラムへの企画・広報協力
当事者団体等が企画する交流会等（平成 25 年度は「紅葉狩り企画」や「お正月準備の会企画」）への企画・運営、広報の協力。
- 3 情報発信
 - ・メルマガの配信（都内で支援活動を行う支援団体の取組情報を配信）
 - ・ホームページでの情報発信

●今年度特に力をいれる取組（予定も含め）

- ・当事者団体との協働事業
都内にある避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、この間連携している 12 団体の当事者団体と協働して具体的な交流プログラムを実施する。また、このような取組みは、これまで実施している当事者団体担当制（バディ制）をより強化していくことで充実させていきたいと考えています。

●参加されている方へのメッセージ

- ・広域避難者支援連絡会 in 東京では、今後も当事者の方とともに取組みを進めていきたいと思っています。是非、都内や関東地区の皆さまとも情報交換・意見交換して行きたいと思っています。よろしくお願いいたします。

7) 神奈川県

団体名	ふりがな：かながわひなんしゃとともにあゆむかい かながわ避難者と共にあゆむ会	設立年：2013 年
発表者氏名	ふりがな：あずま なおこ 東 尚子	役職名：広報
活動地域	(都道府県) 神奈川県	
組織構成	スタッフ数：(正会員) 28	会員数：(サポートスタッフ) 15
該当するものに■ ☒ 避難者と避難先の地域住民 ☐ 避難者のみ ☐ 避難先の地域住民のみ ☐ それ以外		

●活動内容 (例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等)

- ・避難者同士のネットワーク形成支援
- ・お茶っこ (避難元を問わない交流会)
- ・町別交流懇談会 (避難元自治体別の交流会)
- ・ふるさとコミュニティ in かながわ (年2回の大規模イベント)
- ・広報誌の発行 (主に神奈川県内への避難者への情報提供)
- ・ふるさとバスの運行 (神奈川と福島県内数か所を結ぶバス便)
- ・神奈川散歩カフェ (名所案内とウォーキングを組み合わせた交流イベント)
- ・避難者の体験談等の聞き取りと記録作成

●今年度特に力をいれる取組 (予定も含め)

- ・避難者同士のネットワーク形成支援
- ・町別交流懇談会 (避難元自治体別の交流会)

●参加されている方へのメッセージ

避難の形やご事情、将来に向けた選択はさまざまかと思いますが、私たちは、避難を余儀なくされている方の思いや主体性を尊重しながら、故郷とのつながり、避難されている方同士のつながりを保っていきけるようお手伝いしています。

交流会では、「知り合いに再会できてよかった」というお声もたびたび聞かれます。まずは、お気軽に参加してみてください。

8) 山梨県

団体名	ふりがな：ひがしにほんだいしんさい やまなしけんないひ なんしゃとしえんしゃをむすぶかい 東日本大震災・山梨県内避難者と支援者を結ぶ会		設立年：2011 年 9 月
発表者氏名	ふりがな：ふじわらゆきお 藤原行雄		役職名： 事務局長
活動地域	(都道府県) 山梨県内全域		
組織構成	スタッフ数：5 名	会員数：5 団体（協力団体 38 団体）	
該当するものに■ ☐ 避難者と避難先の地域住民 ☐ 避難者のみ ☒ 避難先の地域住民のみ ☐ それ以外			

●活動内容（例：交流会、法律相談会、訪問活動、生活に必要な情報提供、子育て支援等）

- ・避難者登録とアンケート調査
- ・全県避難者交流会 / 地域別避難者交流サロン
- ・個別相談 / 訪問活動
- ・イベント情報提供
- ・協力団体への繋ぎ ・マスコミへの繋ぎ ・各種調査への協力

●今年度特に力をいれる取組（予定も含め）

- ・自主避難者/母子避難者のフォロー
- ・孤立防止 ・全県避難者交流会の開催(第 5 回)
- ・サポート体制の維持 ・H27 年度活動原資の確保

●参加されている方へのメッセージ

- ・各地域での支援活動の継続にご支援を！